

➤ 1日 木曜

民数

17:1 【主】はモーセに告げられた。

17:2 「イスラエルの子らに告げ、彼らから杖を、部族ごとに一本ずつ、彼らの部族のすべての族長から十二本の杖を取れ。その杖に各自の名を書き記さなければならない。

17:3 レビの杖にはアロンの名を書き記さなければならない。彼らの部族のかしらにそれぞれ一本の杖とするからだ。

17:4 あなたはそれらを、会見の天幕の中の、わたしがそこであなたがたに会うあかしの箱の前に置け。

17:5 わたしが選ぶ人の杖は芽を出す。こうしてわたしは、イスラエルの子らがあなたがたに向かって言い立てている不平を、わたし自身から遠ざけ、鎮める。」

17:6 モーセがイスラエルの子らにこのように告げたので、彼らの族長たちはみな、部族ごとに、族長一人に一本ずつの杖、十二本を彼に渡した。アロンの杖も彼らの杖の中にあった。

17:7 モーセはそれらの杖を、【主】の前、すなわちあかしの天幕の中に置いた。

17:8 その翌日、モーセはあかしの天幕に入って行った。すると見よ。レビの家のためのアロンの杖が芽を出し、つぼみをつけ、花を咲かせて、アーモンドの実を結んでいた。

17:9 モーセがそれらの杖をみな、【主】の前からすべてのイスラエルの子らのところに持って来たので、彼らは見て、それぞれ自分の杖を取った。

17:10 【主】はモーセに言われた。「アロンの杖をあかしの箱の前に戻して、逆らう者たちへの戒めのために、しるしとせよ。彼らの



不平をわたしから全くなくせ。彼らが死ぬことのないようにするためである。」

17:11 モーセはそのようにした。【主】が命じられたとおりにしたのである。

17:12 しかし、イスラエルの子らはモーセに言った。「ああ、われわれは死んでしまう。われわれは滅びる。全員が滅びるのだ。

17:13 すべて近づく者、【主】の幕屋に近づく者が死ななければならないとは。ああ、われわれはみな、死に絶えなければならないのか。」

イスラエルの民は罰せられても、まだモーセと主に逆らいました。それで何度も罰せられたのですが、ここで主はその指導者の権威を明かになりました。すなわち、12本の杖のうちアロンの杖だけが芽、つぼみ、花、実を付けたのです。

このように神の共同体をまとめあげるためには、神の権威が明かになることが力になります。新約においては聖書の裏づけと聖霊のみわざです。さらにこの杖はヘブル書によると、イエス様を表わすものであって、そこには救いをもたらす権威があるのです。イエス様の救いがあるなら、そこには主が働いておられるので、その権威を尊重して従わなくてはなりません。それは導く者も同じで、自分の権威ではなく、主の権威を尊重するのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

